

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

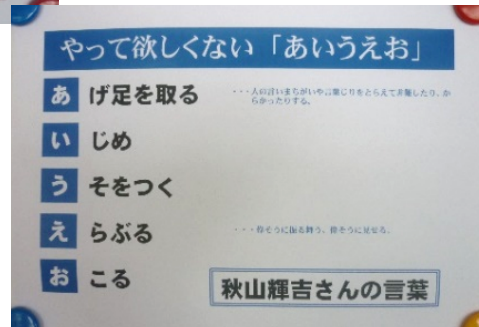
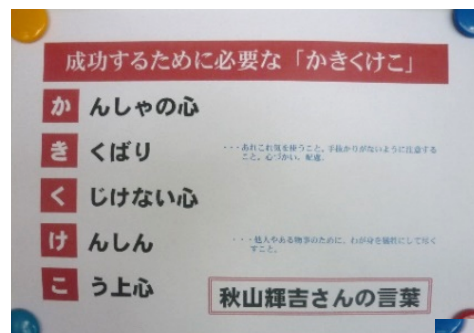
道府県・政令市名【 宮城県 】

1 実践テーマ	【 I, IV, V 】
2 実施対象者	<p>栗原市立栗駒中学校</p> <p>【校内体育祭】全校生徒278名</p> <p>【総合的な学習の時間】第3学年91名（男子44名，女子47名）</p> <p>【オリンピック講演会】全校生徒278名，保護者150名</p>
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（ 総合的な学習の時間 ）</p> <p>② 行事名（ 校内体育祭 ）</p> <p>③ その他（ オリンピック講演会 ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	○オリンピック・パラリンピックの精神を学ぶと共に，日本の良さの再発見と体力の向上を図る。
5 取組内容	<p>(1) 校内体育祭において「綱引き」を実施</p> <p>○本校では，毎年9月上旬に校内体育祭を開催している。今年度は，オリンピック・パラリンピックへの知識・理解を深めさせるために，1900年の第2回パリ大会から1920年の第7回アントワープ大会まで，オリンピック種目となっていた「綱引き」を取り入れた。2002年2月ソルトレイクシティで開催された国際オリンピック委員会総会において，国際綱引連盟（TWIF）がIOCに正式加盟が認められ，オリンピック復活が期待されている競技の1つであるという説明を，ルールを確認するときに取り入れた。当日は，全校生徒が参加し，白熱した競技となった。本校には，車いすで生活をする生徒もいるが，その生徒も一緒に競技に参加し，身体に障がいを抱えている生徒に対する配慮やそれを受け入れようとする気持ちの育成にもつながったと考えられる。</p>



(2) 本校卒業生である秋山輝吉さんを招いてのPTA 教養文化部講演会の実施



○12月に行われたPTA 教育文化部講演会では、講師に射撃競技日本代表としてリオデジャネイロオリンピック出場をはじめ、各種世界大会で活躍する本校卒業生である秋山輝吉さんを招いて講演を行った。「オリンピックへの挑戦」という演題で、自身がオリンピックに出場するきっかけになった体験のお話をいただいたり、実際のオリンピックでの射撃の映像を見せていただいたりすることができ、全校生徒のオリンピック・パラリンピックに対する興味・関心が高まったと考えられる。また、目標の大切さやそれを達成させるために必要な「かきくけこ」、やって欲しくない「あいうえお」というお話もいただき、テーマである「豊かな心と健やかな体の育成」につながる講演であった。



(3) 宮城県中学校体育連盟陸上競技専門部強化事業への参加

○12月17日にひとめぼれスタジアムで行われた「第2回宮城県中体連陸上専門部陸上教室」への参加の呼び掛けを行ったところ、自主的に3名の生徒が参加をしたいという申し出があった。内容としては、短距離とハードルの基本的な練習方法の指導があり、陸上部のない本校の生徒たちにとって、具体的な練習の方法を知ることや公認トラックを走ることは、大変貴重な経験であった。来年度も陸上大会への出場を強く志望している生徒もいる。



	<p>(4) ふるさと学習の実施</p> <p>○3年生の総合的な学習の時間では、10月21日(土)に行われた文化祭に向けて、9月から地域の伝統芸能を学ぶ「ふるさと学習」を行った。文化祭当日は、「白鷺太鼓」「文字甚句」「栗駒神楽(鳥舞)」「よさこい」「岩ヶ崎お囃子」の5つの発表を行い、どの団体もおよそ2ヶ月間の練習の成果を発揮することができた。ふるさと学習を通して、自分の住む地域のことをより深く知るとともに、地域の方々への感謝の気持ちが高まった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>6 主な成果</p>	<p>○校内体育祭実施後に行った全校生徒対象のアンケートでは「友人の良いところを見つけられましたか?」という質問項目に対して、「よくできた」が63%「まあまあできた」が29%という回答であり、多くの生徒が友人の良いところを見つけられたと回答した。</p> <p>○OPTA 教養文化部講演会では、本校からオリンピックに出場し、世界を舞台に活躍している先輩がいるという事実を知り、一層オリンピック・パラリンピックに対する興味・関心が高まった。</p> <p>○陸上教室に自主的に参加した生徒は、学習に意欲的に取り組んだり、礼儀正しく生活したり、また、学校行事に対しても進んで参加する姿が見られ、普段の学校生活でも成長が見られた。</p>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>○校内体育祭では、オリンピック種目であった「綱引き」を実施するとともに、車いす生徒も含めた全生徒が安全に競技に参加できるように配慮した。</p> <p>○母校の先輩であり、実際にオリンピックに出場した選手からの講話を聞くことで、オリンピックというものを身近に感じることができるようにした。</p> <p>○地域の伝統芸能を学ぶ「ふるさと学習」では、講師の先生方から定期的に指導していただきながら、生徒達が異年齢の方との交流を積極的に行った。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○校内体育祭を実施するにあたり、オリンピック・パラリンピックの関連を図った競技を1つしか入れることができなかった。</p> <p>○現状では、3年生で陸上教室に参加した生徒が中学校生活においてそれを生かす場面が少ないと考えられる。そのため、陸上教室に参加した生徒から、学んだことや感じたことを参加していない生徒に伝えられる機会をつくっていきたい。</p> <p>○掲示等で、オリンピック・パラリンピックに対する気運を盛り上げる工夫が必要だった。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○校内体育祭でのオリンピック・パラリンピックに関連した競技を増やすとともに、関連著書や掲示物を生徒の目の届く場所に設置するなど、2020年に向けて生徒の興味・関心を高めていく。</p>